



……13……

私は情報発信の一環で市産品の販売を通じてPRも行っている。1年目は都内のマルシェに出店するなど、ターゲットを都内にしてきた。しかし、これらの活動を交流人口拡大の前段階と位置付けていた私の中に、「このお客さんの中の何人が実際に常陸太田市を訪れるのだろうか」というモヤモヤした気持ち

# 学生と連携 魅力PR



「里美cafeチーム」の学生たち  
＝4日撮影、水戸市の泉町会館

## 里美cafeチーム

が徐々に生まれてき 年目からは茨城大の授  
た。そこでターゲット 業と連携する機会をい  
を県内に移し始め、2 ただいた。

里美の魅力がPRされたことを目的に集まった学生は5人。「里美cafeチーム」という名前が活動の始まり、昨年度は里美地区を訪問して地域の方と交流し、発見した魅力が水戸市のイベントや学園祭でPRした。本年度は茨城キリスト教大の学生を含む新メンバーが加わり、水戸市の泉町会館で行われている「ファーマーズマーケット」のつながりも生まれて、4日に一日カフェが実現した。

里美産の野菜を使ったカレーを提供し、多くの方で盛況を博した。この企画の中心となつた茨城大の岡本萌さん(20)は「活動を通してたくさんの方とつながることができ、教室の中で座って勉強するのは違った学びの深さ、やりがいを感じた」と、初めてカフェを開いた感想を話してくれた。

この2年半、活動しながら模索を続け、さまざまな活動を試しながら進んできたが、少しずつ自分の思いに近づいてきているような気がする。

(常陸太田市地域おこし協力隊里美地区担当・石川明紗)

(毎週水曜日掲載)